

ホームページ
株主・投資家情報のご紹介

弊社の最新・詳細情報は
ウェブサイトよりご覧いただけます。



◆ 株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

[ホームページアドレス](https://www.hibiya-eng.co.jp/)

<https://www.hibiya-eng.co.jp/>

株主名簿管理人/
特別口座の
口座管理機関/
同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部

(問い合わせ先)

東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (電話料無料)

(郵便物送付先)

〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

各種手続のご連絡

■ 未払配当金のお支払について

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。
お支払期限は定款の定めにより支払開始日から3年となっております。

■ 単元未満株式(100株未満)をご所有の株主様

下記の制度をご利用いただけます。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。

- ・ 買い取り制度：単元未満株式を当社に売却する。
- ・ 買い増し制度：単元(100株)にするため不足する株式を当社より購入する。

■ 住所変更、配当金受取方法変更について

<証券会社に口座をお持ちの株主様>
ご利用の証券会社へお問い合わせください。

<特別口座(特別口座へ記録されている)の株主様>
口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。
特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでもお受けいたしております。

https://safe.tr.mufg.jp/cgi-bin/daikou/youshi_01.cgi



時代にまっすぐ、
技術にまじめです。

第58期 IR通信 株主・投資家の皆様へ
2022年4月1日から2023年3月31日まで



目次

ごあいさつ	1
事業報告	2
特集①: 第8次中期経営計画について	3-6
特集②: 株主アンケート結果について	7-8
当期の主な完成物件	9-10
財務ハイライト	11-12
株式の状況	13
役員/会社概要	14

※ご注意
本誌には、将来の業績予想などに関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなくリスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、本誌の予想数値とは異なる可能性があります。

株主・投資家の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび代表取締役社長に就任いたしました中北英孝でございます。当期の決算業績報告(2022年4月1日~2023年3月31日)をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社グループでは新たに「第8次中期経営計画(2023~2025年度)」を策定し、継続的な事業確保と更なる成長のために、2023年度より活動をスタートさせております。

第7次中期経営計画におきましては、取り巻く環境はコロナ禍という不安定な状況ではありましたが、コア事業の収益力強化とアライアンスパートナーとの連携による新たな顧客基盤の獲得、脱炭素・省CO₂に向けた事業領域の拡大、現場フォロー体制の充実やDX推進による施工管理の効率化に注力するとともに、男性社員の育児休業取得促進等によるダイバーシティの推進、社会貢献活動、経営の健全性確保等々、様々な取り組みを進めてまいりました。その結果、受注高、売上高、利益は、いずれも期首業績予想に比べて大幅増となり、第7次中期経営計画最終年度の財務目標を達成することができました。

新たに策定しました第8次計画では、「営業・技術基盤の強化と深化、経営資源の最適配分による収益力向上」、「イノベーションによる成長領域の拡大」、「人材マネジメントの充実による人的資本の価値向上」、「サステナビリティ経営推進による社会価値の創造」を基本方針とし、第7次計画で強化してまいりましたコア事業を深化させるとともに、更なる成長に向けた取り組みを進めることとしております。

事業環境の変化に対応しつつ、お客様に寄り添い、多様な社会課題の解決のため、そして将来の地球環境確保に貢献することで企業価値の最大化を目指してまいります。

皆様方におかれましては、引き続き当社グループへのご理解とご支援を賜りますよう、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **中北英孝**

2023年3月期 業績等

受注高	873億 54百万円 (前年同期比: 10.7%増)
売上高	839億 78百万円 (前年同期比: 11.2%増)
営業利益	59億 53百万円 (前年同期比: 5.1%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	46億 44百万円 (前年同期比: 6.2%増)
ROE	7.4%

第7次中期経営計画(2020.4~2023.3)

■ 基本方針

コア事業の収益力強化と新たな事業機会の創出による成長と企業価値向上

「人材×技術」で持続可能な社会の実現に貢献

■ 基本戦略

様々なステークホルダーとの共創によるLCトータルソリューションの進化

技術の高度化による生産性向上

働き方改革“Smart WORK”の推進と多様性(ダイバーシティ)

会社経営の健全性を確保

■ 主要業績目標(連結)

	2023年3月期 (最終年度)
受注高	800億円
売上高	800億円
営業利益	45億円
親会社株主に帰属する当期純利益	35億円
ROE	6.0%以上

配当・株主還元施策

2023年3月期 実施状況

株主配当金

第7次中期経営計画の利益目標をベースとし、1株につき年間85円配当を実施

2024年3月期 計画

基本方針

“安定的かつ継続的な株主配当”と“機動的な自己株式の取得”

株主配当金

1株につき年間86円(予定)

自己株式取得(上限)

取得株数60万株/取得総額15.0億円

事業環境の変化に対応しつつ、企業価値の最大化を目指し 第8次中期経営計画に取り組んでまいります。

基本方針

コア事業を深める

営業・技術基盤の強化と深化、
経営資源の最適配分による収益力向上

P4
参照

経営基盤を高める

人材マネジメントの充実による
人的資本の価値向上

P6
参照

事業領域を広げる

イノベーションによる
成長領域の拡大

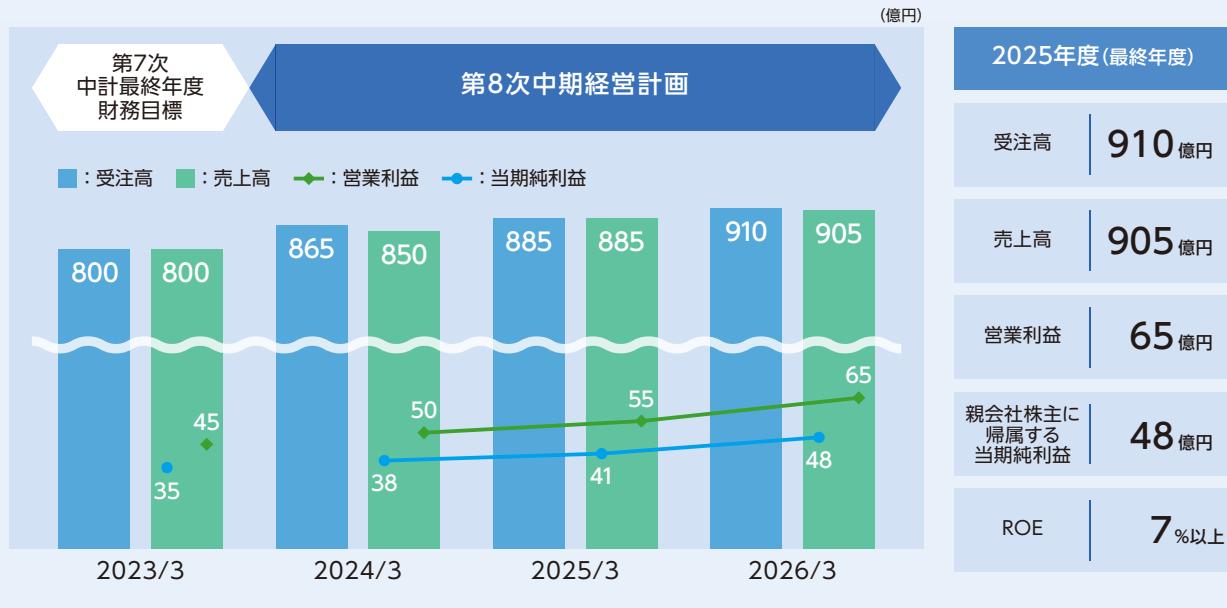
P5
参照

ESG経営

サステナビリティ経営推進による
社会価値の創造

P6
参照

財務目標



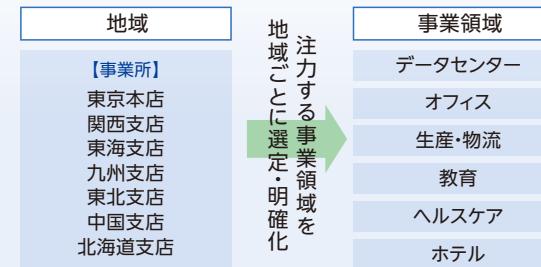
コア事業を深める

営業・技術基盤の強化と深化、経営資源の最適配分による収益力向上

営業・技術基盤の強化と深化

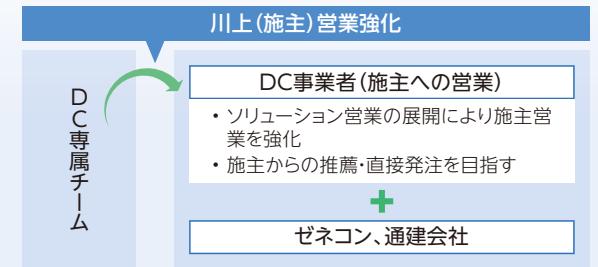
【具体例】▶ 地域密着型営業の推進

- 地域に特化した効率的な事業展開
- 地域ごとのマーケットシナリオに基づく営業戦略



▶ データセンターソリューションの展開

- データセンター(DC)専属チームによる営業戦略の展開
- 企画・提案・設計・施工までワンストップで提供

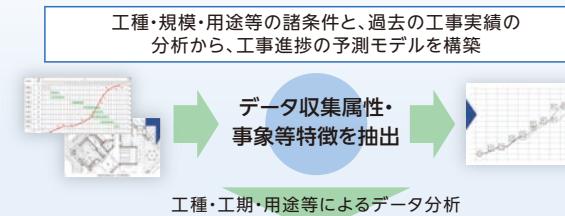


▶ 主要顧客の事業変革への対応 ▶ 生産施設への事業分野拡大 ▶ その他の注力分野

経営資源の最適配分

【具体例】▶ 人員の最適配置と生産性向上

- 施工人員の稼働予測・傾向分析による戦略的受注及び仕事量の平準化



戦略的受注・施工人員配置予測・工事出来高予測・進行基準計上見込予測

▶ コスト競争力と採算性の確保

- 環境変化に柔軟に対応できる、強固なコスト体質の構築
- 競争力のある原価の構築



時代の変化に柔軟に対応できるコスト体質の構築

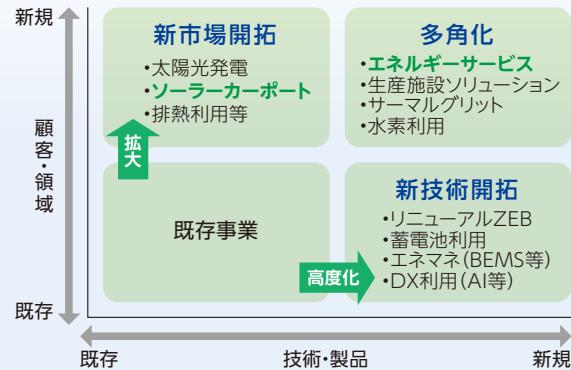
▶ 安全・品質の向上

事業領域を広げる

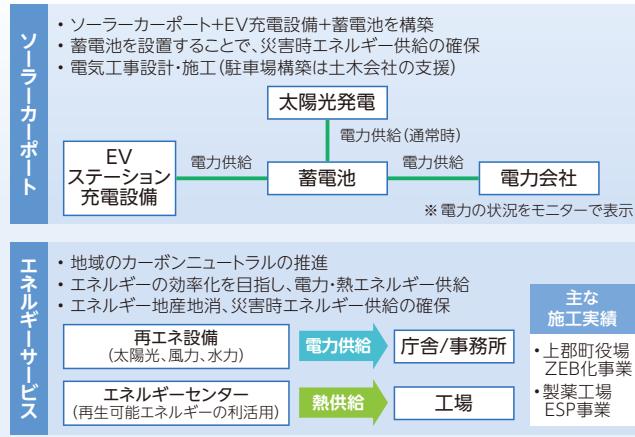
イノベーションによる成長領域の拡大と持続的成長

カーボンニュートラル事業推進『HIBIYA未来創造』の展開

- 新市場や新技術の開拓
- 事業領域の拡大及び収益基盤の強化



【具体例】



経営基盤を高める

人材マネジメントの充実による人的資本の価値向上

従業員を最大の資産ととらえ、多様な人材が働きがいをもって活躍できる職場環境の構築



ESG経営

技術高度化に向けたイノベーションラボ活用

- カーボンニュートラル事業推進
- コア事業・成長事業に寄与する知的財産の強化
- 再エネ、創エネおよび未利用熱メニューの調査・実証
- データセンターの更なる省エネ技術獲得に向けた技術調査

▶ オープンイノベーションプラットフォーム

- 企業とのアライアンス、大学との産学連携によるタイムリーな技術導入の実現

【具体例】

新技術の追求・検証

- 新工法・新技術の検証
- 製品の評価検証等
- 【蓄電システム、次世代太陽光発電システム等】

現場対応（現業サポート環境の構築）

- 設計、検証、施工上のモックアップ検証
- ロボット施工、自動施工の検討
- 新製品・海外製品の試用とモニタリング等

既存技術の深耕

- エネルギー管理技術の高度化
- パッケージ空調の進化等
- 【計装技術、クリーンルーム技術、高発熱対応データセンター空調システム等】

HIBIYA
イノベーション
ラボ

基礎・教育の環境整備

- グループ社員の研修の場、体験設備
- 省エネ技術効果の見える化
- DX人材育成の場等

サステナビリティ経営推進による社会価値の創造

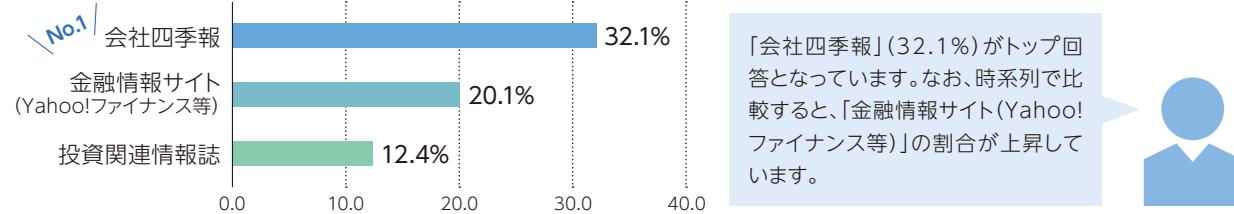
取り組むべき重要課題		第8次中期経営計画施策
E	環境マネジメント	▶ 脱炭素社会への積極的な貢献 ● カーボンニュートラルソリューションの推進とエネルギー管理の高度化
S	人的資本への投資	▶ 人的投資の可視化と活用 ● 人材採用・育成、ウェルビーイングおよびダイバーシティ推進
	地域・社会への貢献	▶ 地域・社会貢献活動の積極的な実施と支援 ● 地域社会と共生し、社会課題の解決に貢献
G	安全・品質の確保	▶ 安心・安全な労働環境の整備 ● 事故・瑕疵・クレームの撲滅に向けた取り組み強化
	経営の健全性確保	▶ コンプライアンスの徹底とリスクマネジメントの強化 ● 内部統制システムの整備、経営の透明性確保およびリスク管理体制の充実

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

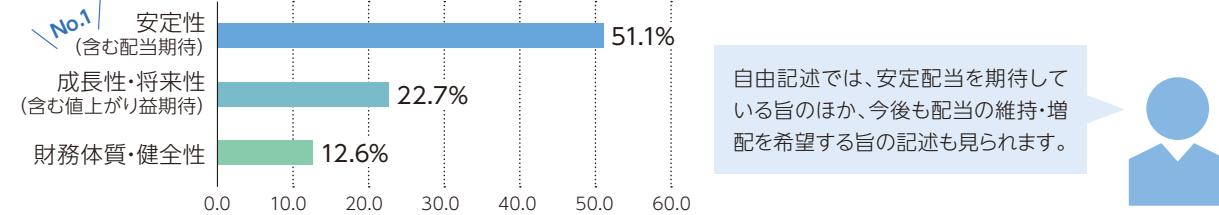
第58期中間IR通信に同封しましたアンケートについて、たくさんのご意見を頂戴いたしました。ご協力ありがとうございました。皆様の貴重なご意見を参考にさせていただきながら、今後のIR活動のより一層の充実を図ってまいります。集計結果とご意見を一部紹介させていただきます。

調査期間 2022年12月2日～2023年1月4日 集計対象 717枚 回答率 18.1%

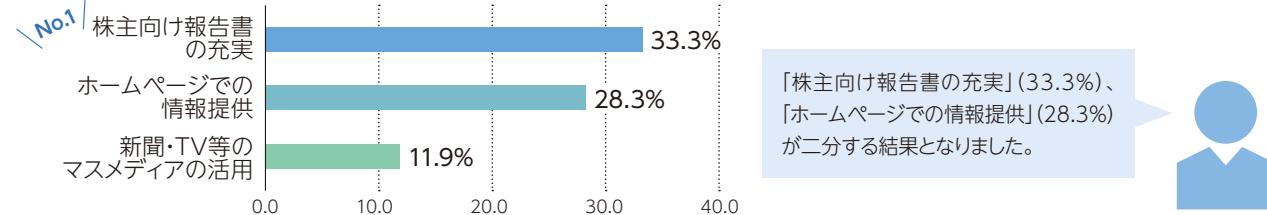
株式購入・取得のきっかけ（一部抜粋）



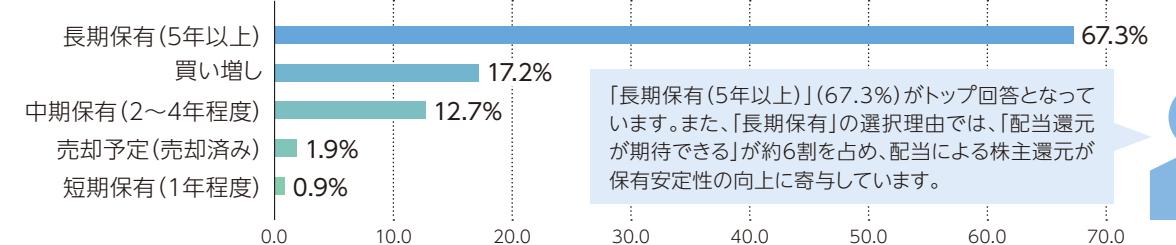
購入・取得時、最も重視したこと（一部抜粋）



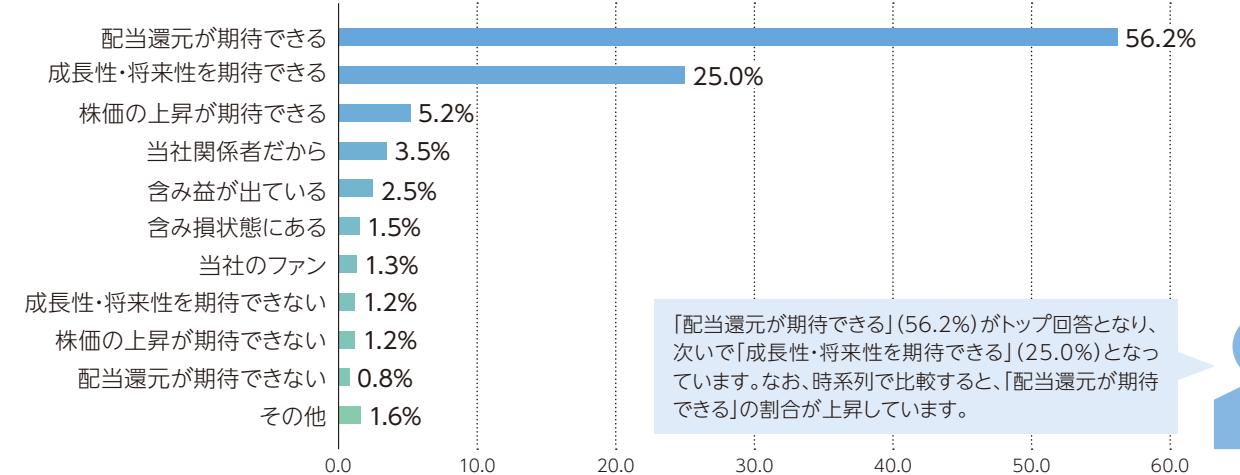
充実を希望するIR活動（一部抜粋）



今後の保有方針



保有方針の理由



Pick Up

株主の皆様よりいただいたお声の一部をご紹介します

- 引き続き安定した配当をお願いいたします。
- 業績向上・増配を期待してます。
- 今後も業績アップに最大限の努力をお願い致します。
- 配当金の更なるupに期待しています!
- IR通信拝見いたしました。地域・社会への貢献、また人財への取り組みすばらしいと思います。
- 人材投資に力を入れて下さい。
- コロナやウクライナで大変かと思いますが安定経営に向けてよろしくをお願いします。
- 積極的経営と若手社員の育成。
- 関西大倉学園の新校舎の写真とても美しく、感動しました。
- 社会貢献に期待します。
- 貴社の安定したビジネスモデルに魅力を感じます。これからもがんばってください。応援しています。

当期の主な完成物件

凡例 ▶▶ 1 所在地 2 延床面積 3 規模 4 当社施工

博多イーストテラス オフィス



- 1 福岡県福岡市
- 2 29,200㎡
- 3 地上10階
- 4 空調

住友不動産 東京三田ガーデンタワー オフィス



- 1 東京都港区
- 2 200,541㎡
- 3 地上42階/地下4階
- 4 空調

富士ソフトビル オフィス



- 1 愛知県名古屋市
- 2 8,801.80㎡
- 3 地上14階/地下1階
- 4 空調

ラビスタ東京ベイ ホテル



- 1 東京都江東区
- 2 31,997㎡
- 3 地上14階
- 4 空調

姫路市中央卸売市場 物流施設



- 1 兵庫県姫路市
- 2 28,289.99㎡
- 3 地上2階
- 4 空調

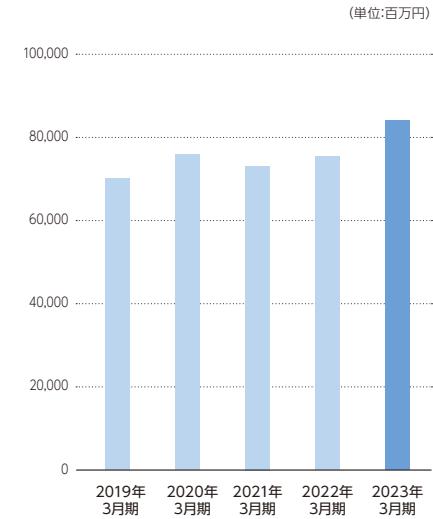
関西大倉学園 教育施設



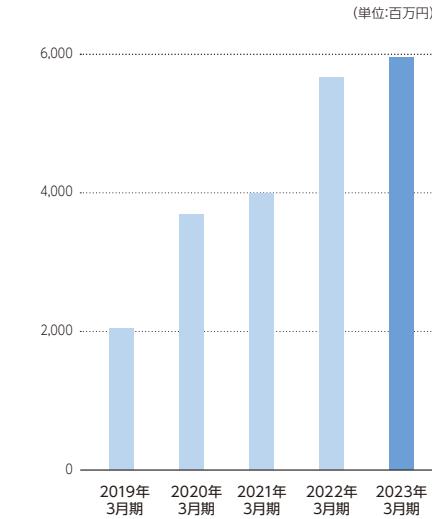
- 1 大阪府茨木市
- 2 10,857㎡
- 3 地上4階
- 4 空調・衛生

	(単位:百万円)		
	第57期 2022年3月期	第58期 2023年3月期	前年同期比 増減額
売上高	75,497	83,978	+ 8,481
売上総利益	14,685	15,132	+ 446
営業利益	5,662	5,953	+ 290
経常利益	6,163	6,617	+ 454
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,372	4,644	+ 271
純資産	63,409	64,714	+ 1,305
総資産	87,466	94,687	+ 7,220
自己資本比率(%)	70.7	67.2	△ 3.5
従業員数(人)	961	966	+ 5

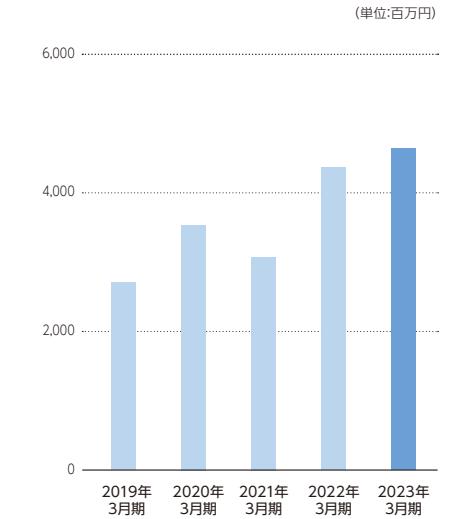
売上高



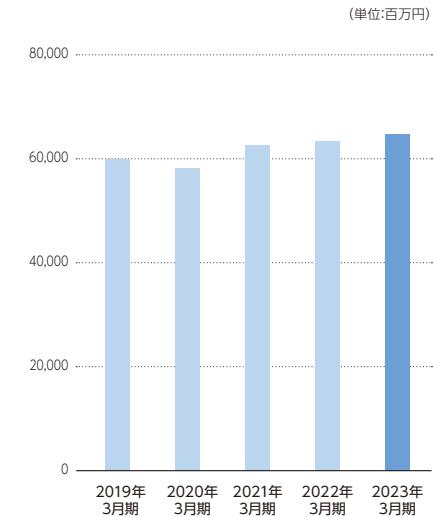
営業利益



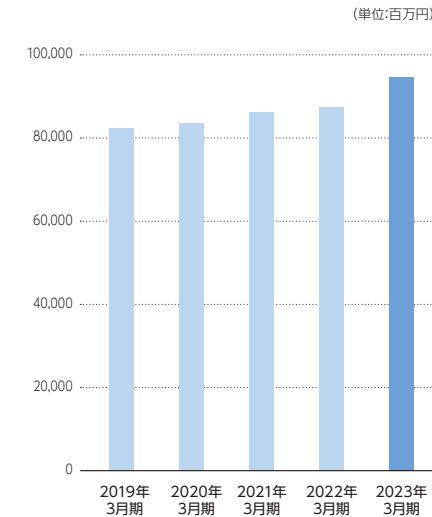
親会社株主に帰属する当期純利益



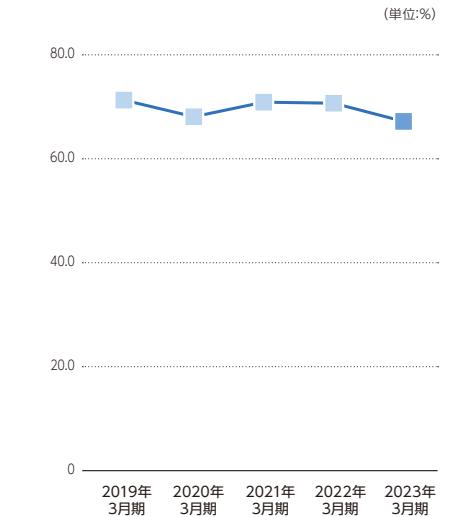
純資産



総資産



自己資本比率(%)



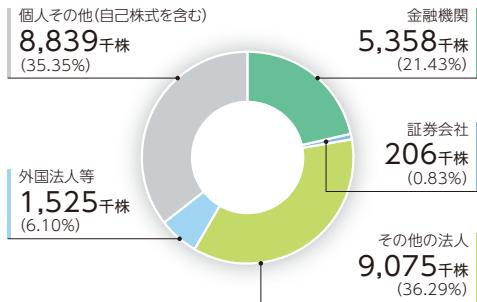
- 発行する株式の総数 96,500,000株
- 発行済株式の総数 25,006,321株
- 株主数 3,816名

大株主の状況

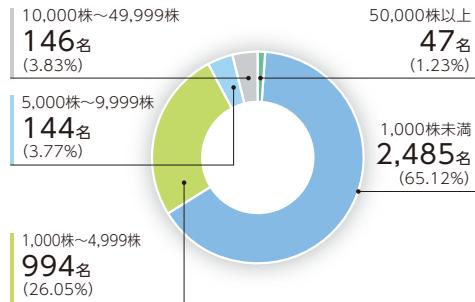
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,230	9.68
日比谷総合設備取引先持株会	1,471	6.38
光通信株式会社	1,345	5.83
エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社	920	3.99
住友不動産株式会社	920	3.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・株式会社百十四銀行口)	900	3.90
日比谷総合設備従業員持株会	784	3.40
一般社団法人電気通信共済会	698	3.03
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	610	2.65
共立建設株式会社	594	2.58

(注) 持株比率は、自己株式1,952千株を控除して計算しております。
 なお、自己株式には業績連動型株式報酬制度(役員報酬BIP信託)により当該信託が保有する当社株式は含まれておりません。

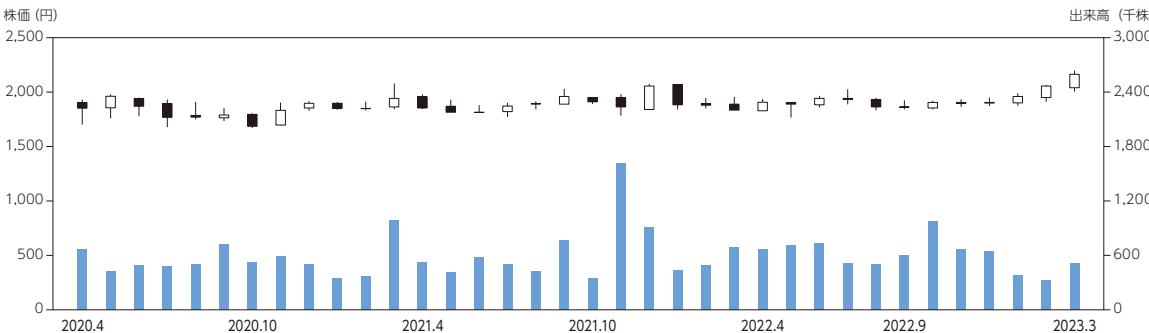
所有者別株式分布状況



所有株式数別分布状況



株価および出来高の推移



取締役及び監査役

代表取締役社長	社長執行役員	中北 英孝
代表取締役副社長	副社長執行役員	香月 重人
取締役	常務執行役員	富江 覚司
取締役	常務執行役員	享保 裕彦
取締役	上席執行役員	荒井 泰徳
取締役	上席執行役員	堀 泰彰
取締役		橋本 誠一
取締役		大砂 雅子
取締役		大串 淳子
常勤監査役		川島 高博
常勤監査役		阿部 宏
監査役		只腰 博隆
監査役		原田 昌平

(注) 1. 取締役 橋本 誠一、大砂 雅子、大串淳子は社外取締役であります。
 2. 監査役 川島高博、只腰 博隆、原田昌平は社外監査役であります。
 3. 取締役 橋本 誠一、大砂 雅子、大串淳子及び監査役 川島 高博、原田 昌平、につきましては、東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。

執行役員

上席執行役員	豊田 忠之
上席執行役員	金子 昌史
上席執行役員	新 邦夫
執行役員	井上 浩一
執行役員	高野 貴義
執行役員	三輪 恭久
執行役員	安西 貴史
執行役員	土門 暁
執行役員	坂口 照彦
執行役員	荒川 忠士
執行役員	太田 孝

商号：日比谷総合設備株式会社
 Hibiya Engineering, Ltd.

設立年月日：1966年3月9日

資本金：57億53百万円

株式：東京証券取引所プライム市場

従業員数：個別 805名 連結 966名

- 事業内容：(1) 空気調整装置工事
 (2) 電気設備工事並びに通信設備工事
 (3) 給排水その他衛生設備工事
 (4) 建築並びに土木の設計及び工事
 (5) 建築設備、環境衛生関係機器の製造及び販売
 (6) 建築物、建築設備の保守管理、警備及び清掃業務
 (7) 建物セキュリティシステムの開発、設計、施工、販売及び保守
 (8) 前各号に関するコンサルティング業務
 (9) 前各号に付帯する事業

建設業許可：国土交通大臣許可(特-2)第3931号
 管工事業、電気工事業、電気通信工事業、水道施設工事業、建築工事業、土木工事業、ほ装工事業、とび・土工工事業、消防施設工事業

一級建築士事務所：東京都知事登録第28260号

事業所：

本社 東京都港区三田三丁目5番27号

東京本店 東京都港区芝浦三丁目4番1号

支店 北海道、東北、横浜、東海、北陸、関西、中国、四国、九州、沖縄

営業所 函館、岩手、新潟、富山、長野、茨城、北関東、千葉、静岡、神戸、岡山、熊本、鹿児島

研究施設 千葉県野田市